



PRINCESS CRUISES

<プレスリリース>

2014年11月6日

プリンセス・クルーズ、 新造船『リーガル・プリンセス』の命名式を開催

米ドラマ「ラブ・ポート」メイン出演者が名付け親に、ゲスト出演者 25 名も再集結
設立 50 周年を祝い、記録的な 50 本のシャンパンボトルで祝砲



『リーガル・プリンセス』を命名した「ラブ・ポート」のメイン出演者たち

プリンセス・クルーズは、新造船『リーガル・プリンセス』の命名式典を米国フォートローダデイルで行った。プリンセス・クルーズの客船を舞台にし、同社の名を一躍有名にした、米ドラマ「ラブ・ポート」の貢献に敬意を表し、6名のメイン出演者が名付け親を務め、25名のゲスト出演者もお祝いに駆けつけた。

「ラブ・ポート」をテーマにした式典には、多くの著名人が参加し、同ドラマがプリンセス・クルーズの50年にも亘る歴史の中で重要な役割を果たしたことを祝うと共に、設立50周年記念イベントの幕開けとなった。

「ラブ・ポート」のメイン出演者であるギャビン・マクロード氏（船長のスチュービング役）、フレッド・グランディ氏（チーフ・パーサーのゴファー役）、テッド・ラング氏（バーテンダーのアイザック役）、バーニィ・コペル氏（クルーズ・ドクターのドック役）、ローレン・ティウス氏（クルーズ・ディレクターのジュリー役）、ジル・ホイーラン氏（キャプテンの娘のヴィッキ役）の6名がレバーを引き、設立50周年を記念し記録的な50本ものシャンパンボトルを、船体にぶつけて割る儀式が行われた。続いて、プリンセス・クルーズの更なる飛躍を祈り、51本目となる特大サイズ（ネブカドネザルサイズ）のシャンパンボトルが割られた。

「ラブ・ポート」ゲスト出演者のフローレンス・ヘンダーソン氏が司会進行を務めた50周年記念のゴールド・カーペットには、ロニ・アンダーソン氏、ジョイス・デウィット氏、ジェイミー・ファー氏、パム・グリアー氏、クリストファー・ナイト氏、ダイアン・ラッド氏、ロレンツォ・ラマス氏、キャロル・ローレンス氏、リッチ・リトル氏、クリスティーン・マクニコル氏、リー・メリウエザー氏、ドン・モスト氏、トレイシー・ネルソン氏、マッケンジー・フィリップス氏、ドリス・ロバーツ氏、マリオン・ロス氏、フランク・シナトラ・ジュニア氏、シャーリーン・ティルトン氏、ジョアン・ヴァン・アーク氏、ディック・ヴァン・パッテン氏、エイドリアン・ズメッド氏ら著名人が登場した。「ラブ・ポート」に最多ゲスト出演したチャロ氏は、クラシックギターの演奏でゲストを魅了した。また、「ラブ・ポート」の主題歌を歌ったジャック・ジョーンズ氏も登場し、同ドラマの主題歌を披露した。

プリンセス・クルーズ社長ジャン・スワーツは、次のように述べている。「プリンセス・クルーズは、『ラブ・ポート』によってその名を一躍世間に広めました。また、同ドラマを通じて、10年以上に亘って何百万人もの視聴者に、プリンセス・クルーズのロマンスと冒険を届けました。設立 50 周年のお祝いの幕開けとして、『リーガル・プリンセス』の名付け親に『ラブ・ポート』の出演者の皆様が一番相応しいと考えました。」

「ラブ・ポート」の最初の撮影は、プリンセス・クルーズの客船、初代『サン・プリンセス』（乗客定員 730 人）の船上で試験的に行われた。その後、『パシフィック・プリンセス』と『アイランド・プリンセス』でも撮影され、シリーズ後半やスペシャル番組ではプリンセス・クルーズのその他の客船も舞台となり、世界中の寄港地で撮影が行われた。1977 年から 1986 年まで放送された同ドラマは、視聴者に最新のクルーズを紹介。最も高い視聴率を記録した TV 番組のひとつとなり、また放映期間が最も長いドラマとなった。同ドラマを通じて、プリンセス・クルーズと同社の保有客船は、洋上のバケーションの代名詞となった。

『リーガル・プリンセス』（乗客定員 3,560 人）は、フォートローダゲイルを母港に、初のカリブ海クルーズに就航した。社交の中心となる複数階吹き抜けの「アトリウム」では、様々な軽食やエンターテイメントが楽しめる。また、トップデッキに設置された「シーウォーク」は、船体から 8.5 メートル以上も張り出したガラス張りフロアで、海上散歩が楽しめる。船上のテレビ・スタジオ「プリンセス・ライブ！」や、洋上最大級の「ペストリー・ショップ」、幻想的な光のカーテンでお客様を包み込みプライベートな雰囲気ですごい食事を楽しめる「シェフズ・テーブル・ルミエール」、噴水と音楽のショー「プリンセス・ウォーターカラー・ファンタジー」や、上品でモダンなプールサイドにある星空の下のナイトクラブ「ナイト・スカイ・ラウンジ」など、船内には特徴的な施設が様々ある。また、全ての海側客室にはバルコニーが付いている。

プリンセス・クルーズは、創立 50 周年のスペシャル・イベントとして、新たなメニュー、ショップで販売する記念グッズ、エンターテイメントなど、魅力的なラインナップを用意し、2015 年を通して全ての保有客船で祝う。プリンセス・クルーズは、1965 年に 1 隻の客船でメキシコ・クルーズを開始。創立から半世紀が経った現在、プリンセス・クルーズは世界 3 大クルーズ会社の 1 つとなり、ゲストを世界中の魅力的な寄港地に案内している。

プリンセス・クルーズに関する詳細は、プリンセス・クルーズの日本語ホームページ (<http://www.princesscruises.jp/>)、もしくは、TEL: 03-3573-3610 まで。

プリンセス・クルーズについて

クルーズ業界で最もよく知られる名前の一つであるプリンセス・クルーズは、現在18隻の近代的な客船を運航する、世界的なクルーズ会社。革新的なデザインの客船で、食事やエンターテイメント、アメニティーの豊富な選択肢を、最上級のサービスとともに提供している。世界的なクルーズ会社のリーダーとして、年間170万人のゲストを世界中の目的地に向けて、4泊から111泊のクルーズを運航している。

プリンセス・クルーズは、カーニバル・コーポレーション& plc (NYSE/LSE:CCL; NYSE:CUK)傘下の会社である。

プリンセス・クルーズの主な受賞歴

- 一般社団法人日本旅行業協会主催「JATA ツーリズム大賞 2013」において、「運輸部門優秀賞」受賞
- 米国トラベル誌最大手「トラベル・ウィークリー」主催「トラベル・ウィークリー・マゼラン・アワード 2013」において、客船『ロイヤル・プリンセス』（新造船『リーガル・プリンセス』の同型姉妹船）が「ベスト・ラージ・クルーズ・シップ金賞」受賞
- 米国トラベル誌大手「コンデナスト・トラベラー」主催「コンデナスト・トラベラー読者投票 2013」において、日本発着クルーズに就航している『ダイヤモンド・プリンセス』を含む客船6隻が「ベスト・クルーズ・シップ・イン・ザ・ワールド Top 20 ラージ・シップ」に選出
- 英国クルーズ誌最大手「クルーズ・インターナショナル」主催「クルーズ・インターナショナル・アワード 2014」において、「ベスト・クルーズ・ライン賞」受賞

株式会社カーニバル・ジャパンについて

カーニバル・ジャパンは、世界最大の客船運航会社であるカーニバル・コーポレーション& plcの日本法人として、プリンセス・クルーズ、キュナード・ライン、シーボーン・クルーズのクルーズ商品の販売とマーケティング等を行っている。